

地域福祉推進のための重点プロジェクト 行政の取り組み

資料 2

重点プロジェクト名	取り組みの方針内容	平成22年度		平成23年度		主管課
		事業名	主な事業内容	事業実施名	具体的な内容、成果	
1. 地域防災を切り口とした地域福祉活動の推進	要援護者台帳を作成し、情報公開の方法などを明確にします。	災害時要配慮者台帳整備事業	・平成21年度末に要綱整備を行い、一人1枚の要援護者支援台帳(加除式のファイル)を作成し、平成22年5月に各関係機関(区長等、民生児童委員、消防団、社協、警察署、消防署、行政関係課)に配付し、情報共有を図るとともに、対象者の把握に努めている。	災害時要配慮者台帳整備事業	前年度に引き続き、対象者の把握に努めている。課題として、主に手上げ方式による登録としているため、全対象者に対する登録率が約6割にとどまっていることがある。	社会福祉課
	社会福祉協議会と連携し、防災マップや帰宅支援マップ、要援護者避難支援マニュアルなどを作成し、災害時への対応の方針をつくる。		平成23年度に実施予定	南丹市災害時要援護者避難支援プラン策定業務	本プランは、災害発生時における災害時要援護者への支援を適切かつ円滑に実施するため、国の「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」を踏まえ、本市における災害時要援護者の避難支援対策について、その基本的な考え方や進め方を明らかにするものであり、災害時要援護者の自助と地域における共助を基本とし、災害時要援護者への情報伝達体制や避難支援体制の整備を図ることにより、地域の安心・安全体制を強化することを目的としており、今年度中に策定する。	社会福祉課
	避難訓練の実施支援や講演会などを行い、市民の防災意識を高める。			南丹市総合防災訓練	総合防災訓練の一つとして、各区単位で避難訓練を実施し、複数の区において、要援護者を想定しての訓練は、車イス、担架等を使用し避難を行った。	総務課
2. ネットワークとコミュニティづくり		医療・保健・福祉ネットワーク会議	要介護者等に適切な保健・医療・福祉サービスの提供に向けて地域包括支援センターと市が中心となり関係機関等が連携しながら地域資源の把握や情報交換を行いネットワークの構築を図っている。	地域ケア会議 (医療・保健・福祉ネットワーク会議)	地域包括支援センターと市が中心となり、関係機関等と連携しながら、情報交換等を行なっている。また、「介護サービスの質と量」の検証を行い、次期介護保険事業計画の策定に反映できるよう協議している。	高齢福祉課
	団体・組織間などのネットワーク化を図るよう、支援する。			地域包括ケア総合交付金事業 (暮らしのサポートコーディネーター設置事業)	南丹地域包括支援センターを設置していない八木地域及び美山地域にコーディネーターを配置し、ボランティアサービスや公的サービス等の調整と連携を図り、高齢者の生活を支援する。	高齢福祉課
		障害者支援ネットワーク会議	障害者支援にかかわる各機関の情報交換と共有を図り、地域ニーズの把握と地域支援の方向性などを協議している。	障害者支援ネットワーク会議	前年度に引き続き、障害者支援にかかわる関係機関との情報の交換、共有化を図り、支援の課題や方向性の協議を行った。 今年度から、園部地区も会議を開催し、4町の足並みが揃った。 ・園部地区障害児者ネットワーク会議 ・障害者支援ネットワーク会議(八木管内) ・障害者支援担当者連絡会議(日吉支所管内) ・障害者支援担当者会議(美山管内)	社会福祉課

地域福祉推進のための重点プロジェクト 行政の取り組み

資料 2

重点プロジェクト名	取り組みの方針内容	平成22年度		平成23年度		主管課
		事業名	主な事業内容	事業実施名	具体的な内容、成果	
	団体・組織と連携し、人材育成を図る。	生活介護支援サポーター養成事業	高齢者が安心して暮らすことができるよう公的制度に加えて地域住民が相互に支えあうシステムの構築が必要でありその担い手としてサポーターを養成	生活介護支援サポーター養成事業	高齢者を地域で支え合う体制づくりのため、今年度は八木と美山を会場に研修会を開催し、人材育成に努めている。研修修了者は「なんたん生活介護サポートクラブ」会員として登録していただき、活動の支援を行なっている。	高齢福祉課
				訪問介護員養成事業	介護事業所の人材不足解消と在宅介護の充実を図り、地域で安心して生活できる体制を整備するため、訪問介護員養成研修の受講費用に対し助成を行なっている(市内介護事業所に勤務する者に限る)。	高齢福祉課
	他地域の活動事例などを広報誌やホームページなどを通じて、情報提供する。	子育て情報発信事業	子育て支援施策の情報発信にあわせ、各地域の子育てサークル等の取組み等をまとめた情報誌を作成し、市ホームページに掲載する。	子育て情報発信事業	平成22年度に作成した市ホームページ子育てガイド「のびのびなんたん」の更新を行う。	子育て支援課
	各地域における小地域福祉活動の活性化に向け、活動の支援を図る。	地域福祉推進事業	社会福祉協議会が行う小地域福祉活動等に対し補助を行っている。	地域福祉推進事業	社協を実施主体として、ふれあい委員と民生委員が協働し、孤立しがちな高齢者等の見守り活動等への取り組みが進むなど、各地区で地域福祉を推進するネットワークができてきた。	社会福祉課
3. 市民参加型の日常生活支援サービスによる助け合いのシステムづくり	ボランティア活動への支援を行う。			地域福祉推進事業	社協が主体となって、ボランティア交流会の開催などによりボランティア活動の活性化を支援した。	社会福祉課
	市民参加型の日常生活支援サービスの実施に関する先進事例などを収集し、地域での実施に向けて研究する。	南丹市デマンドバス(タクシー)実証実験事業(平成23年度～日吉町・美山町地域、平成24年度園部町・八木町地域)	高齢者等の自家用自動車を利用できない方の移動手段を確保するため、生活交通としてデマンドバス(タクシー)の導入を図るため、実証実験を実施する。	デマンドバス実証実験運行事業(H23年度 日吉・美山地域)	日吉・美山地域において、高齢者等の交通弱者を対象に予約制のバス運行を実施。利用方法のPRによる周知やアンケート調査等を実施しながら、ニーズの把握に努め利便性の向上を図っている。実証実験での成果に基づき次年度以降の運行を検討する。また、24年度に園部・八木地域での実証実験を行うための計画を行う。	交通対策室
	市民参加型による移送サービスの実施に向け、民間交通機関などと協議を行う。					

地域福祉推進のための重点プロジェクト 行政の取り組み

資料 2

重点プロジェクト名	取り組みの方針内容	平成22年度		平成23年度		主管課
		事業名	主な事業内容	事業実施名	具体的な内容、成果	
4. 地域の福祉拠点づくり	拠点となる施設を団体・組織などと協議・調整し、活用する。	休園施設の検討	美山地内にある3保育所(鶴ヶ岡、平屋、大野)の休園施設について、地域と有効活用法を検討している。 大野保育所は、具体的な活用の要望もあり協議中である。	休園施設の検討	関係団体の要望を受け、休園中の施設の具体的な活用について、地元調整を含め、進捗を図っている。	子育て支援課 社会福祉課
		保健福祉センターの活用	地域福祉の拠点として幅広く福祉目的で保健センターを利用できるように保健センター設置条例を改正した。	保健福祉センターの活用	八木保健福祉センター：NPO法人による子育て支援事業 美山保健福祉センター：平屋地区地域福祉推進協議会による居場所づくり事業 日吉保健福祉センター：ファミリーサポート事業(社協) 園部保健福祉センター：健康教室OB会事業 その他給食サービス・家族介護教室・ヘルパー養成講座・地域福祉連携会議等の開催会場として使用	保健医療課
	団体・組織と連携し、イベントや講座などを開催する。	子育てすこやかセンター事業	社協登録ボランティアサークルや京都匠塾などと連携し、各種講座等を開催している。	子育てすこやかセンター事業	社協登録ボランティアサークルや京都匠塾などと連携し、各種講座等を開催している。 あわせて、別途委託事業として、子育て広場を開設した。(八木保健福祉センター、こじまや)	子育て支援課
	各地区の拠点施設について、周知し、利用を促進する。					
	集落センターや公民館、隣保館などの既存施設を活用し、相談などを行う。	子育てすこやかセンター事業	八木西地区自治振興会館、興風交流センター(保健相談所)、美山文化ホール(和室)を活用し、子育て広場、地域サロンを開催している。	子育てすこやかセンター事業	八木西地区自治振興会館、興風交流センター(保健相談所)、美山文化ホール(和室)を活用し、子育て広場、地域サロンを開催している。	子育て支援課
				地域包括ケア総合交付金事業(ふれあいの居場所拠点整備事業)	地域の空き家等を利用し、地域住民が身近に気軽に集まれる場を設置することで、高齢者等の孤立化や引きこもりを防止し、生きがいのある生活や介護予防の推進を図る。	高齢福祉課